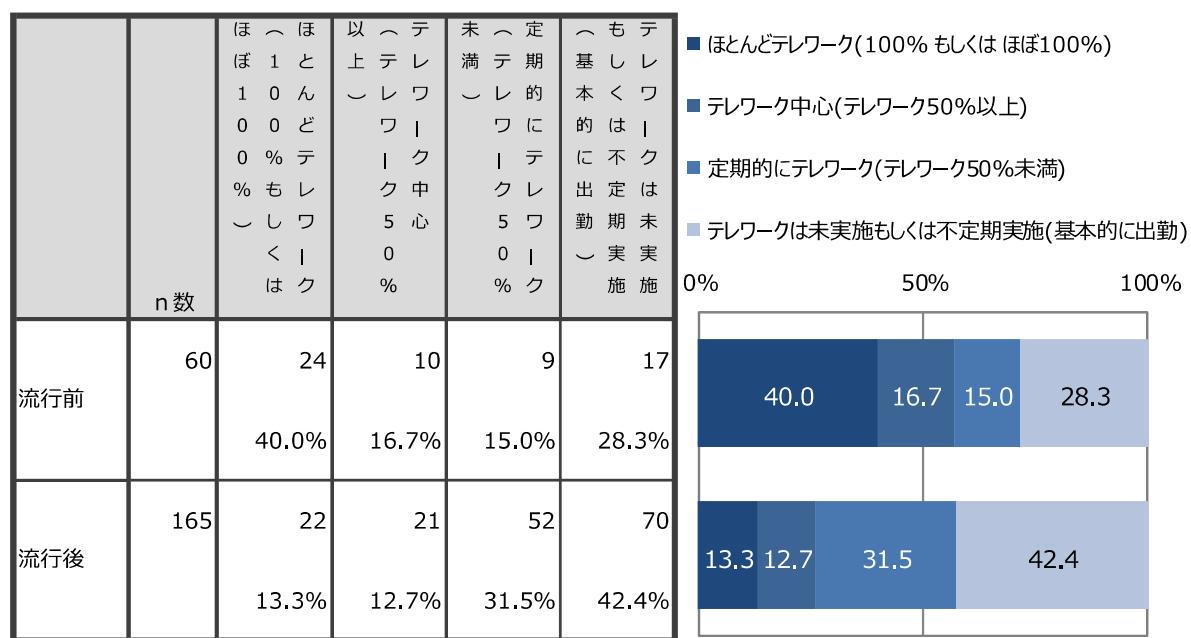


(15) テレワークの頻度について

<全体(単純集計)> (各单一回答)

テレワークの頻度について尋ねたところ、『流行前』では「ほとんどテレワーク」の割合が40.0%、『流行後』では「テレワークは未実施もしくは不定期実施(※)」の割合が42.4%でもっとも大きかった。

※各回答対象者は『流行前』『流行後』でテレワークを実施していると回答した人のみとなっているため、「不定期実施」の意である。

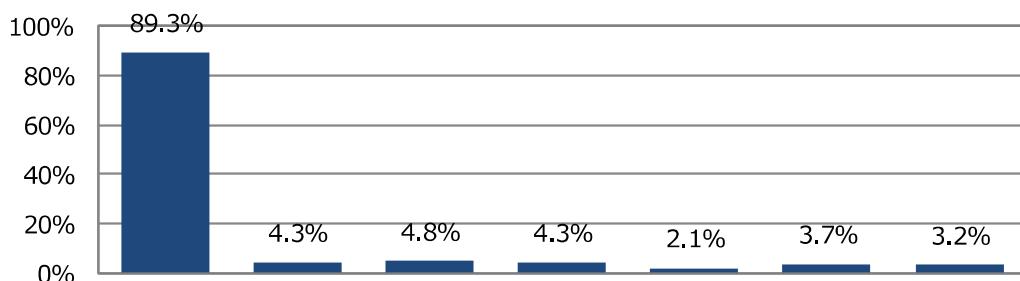


(16) テレワークの実施場所について

(複数回答可)

テレワークを実施したと回答した人に対して、実施場所について尋ねたところ、「自宅の中」の割合がもっとも大きく、89.3%であった。

- 年代別に見ると、30代で「カフェ・喫茶店」「サテライトオフィス」「マンションの共有スペース」が全体に比べて高かった。



		n数	等々 自 り宅 ビの ン中 グ ・ 寝 室	等々 自 べ宅 ラの ン外 ダ ・ 庭	カ フ エ ・ 喫 茶 店	オ サ フ テ イ ラ ス イ ト	共 マ 有 ン ス シ ペ ヨ ン ス の	シ ス コ エ ペ ワ ア リ ー ス キ フ ・ ン イ グ ス	そ の 他
全体		187	167	8	9	8	4	7	6
性別	男性	139	123	8	9	8	3	7	3
	女性	48	44	0	0	0	1	0	3
年代別	20代	19	15	1	1	0	0	1	1
	30代	35	31	3	5	4	3	2	1
	40代	43	39	0	1	1	1	2	1
	50代	53	48	2	1	1	0	2	2
	60代	29	26	1	1	1	0	0	1
	70代	8	8	1	0	1	0	0	0

※ n 数 = 30以上 のとき、全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

【その他回答者のコメント】

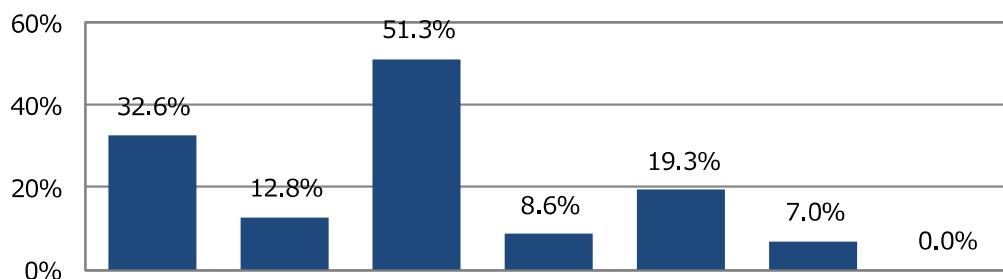
	コメント	件数
職場(会議室等)		1件
ホテル		1件
図書館		1件

(17) テレワーク実施時の利用機器について

(複数回答可)

テレワークを実施したと回答した人に対して、実施時の利用機器について尋ねたところ、「私有PC」の割合がもっとも大きく、51.3%であった。

- 性別に見ると、女性で「電子機器を使用していない」が全体に比べて高かった。
- 年代別に見ると、30代で「社給スマホ・タブレット等」が全体に比べて高く、「私有スマホ・タブレット等」が全体に比べて特に高かった。



		n数	と社同給じPもCのー出勤時	しと社用異給のなPもるCのー持出ち勤出時	私有P	外れのッ給電トス子等マ機ホ器P・類Cター以ブ	外れのッ有電トス子等マ機ホ器P・類Cター以ブ	使電子し機器P・類Cター以ブ	その他
全体		187	61 32.6%	24 12.8%	96 51.3%	16 8.6%	36 19.3%	13 7.0%	0 0.0%
性別	男性	139	46 33.1%	18 12.9%	77 55.4%	11 7.9%	26 18.7%	6 4.3%	0 0.0%
	女性	48	15 31.3%	6 12.5%	19 39.6%	5 10.4%	10 20.8%	7 14.6%	0 0.0%
年代別	20代	19	5 26.3%	6 31.6%	4 21.1%	3 15.8%	5 26.3%	3 15.8%	0 0.0%
	30代	35	12 34.3%	6 17.1%	18 51.4%	6 17.1%	11 31.4%	1 2.9%	0 0.0%
	40代	43	16 37.2%	3 7.0%	23 53.5%	4 9.3%	7 16.3%	0 0.0%	0 0.0%
	50代	53	18 34.0%	5 9.4%	27 50.9%	2 3.8%	7 13.2%	6 11.3%	0 0.0%
	60代	29	7 24.1%	2 6.9%	18 62.1%	1 3.4%	5 17.2%	3 10.3%	0 0.0%
	70代	8	3 37.5%	2 25.0%	6 75.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%

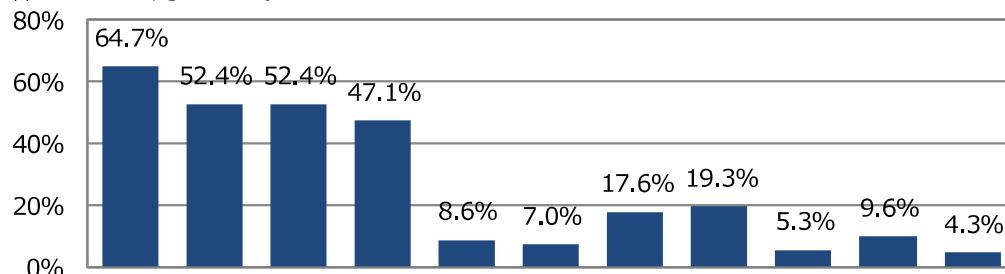
※ n数 = 30以上のとき、全体と比較して ■ +5pt以上 ■ +10pt以上 ■ -5pt以下 ■ -10pt以下

(18) テレワークで行った仕事の内容について

(複数回答可)

テレワークを実施したと回答した人に対して、行った仕事の内容について尋ねたところ、「業務上の文書作成」の割合がもっとも大きく、64.7%であった。

- 性別に見ると、女性で「営業・営業サポート」「その他」が全体に比べて高かった。
- 年代別に見ると、30~40代で「業務上の文書作成」「データの入力」が全体に比べて高かった。また、30代で「資料や情報の収集・整理」「ソフト設計・プログラミング」「保守・メンテナンス」、40代で「業務上の連絡・調整」「編集・校正」が全体に比べて高かった。



		n数	業務上の文書作成	調整業務	収集資料	収集資料・やや整り情報	データの入力	プロトコル	フラグメント	ハード設計	ハード設計	編集・校正	営業・サポート	メンテナンス	メンテナンス	経理・会計事務	経理・会計事務	その他
全体		187	121	98	98	88	16	13	33	36	10	18	8					
性別	男性	139	92	71	72	66	15	12	29	23	10	14	2					
	女性	48	29	27	26	22	1	1	4	13	0	4	6					
年代別	20代	19	12	9	9	6	2	2	1	5	0	1	2					
	30代	35	26	17	21	19	5	2	7	8	4	3	0					
	40代	43	32	25	23	26	3	3	10	7	2	6	0					
	50代	53	29	30	30	25	3	5	7	9	2	5	4					
	60代	29	15	14	14	9	3	1	5	5	0	2	2					
	70代	8	7	3	1	3	0	0	3	2	2	1	0					

※ n数 = 30以上のとき、全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

【その他回答者のコメント（一部抜粋）】

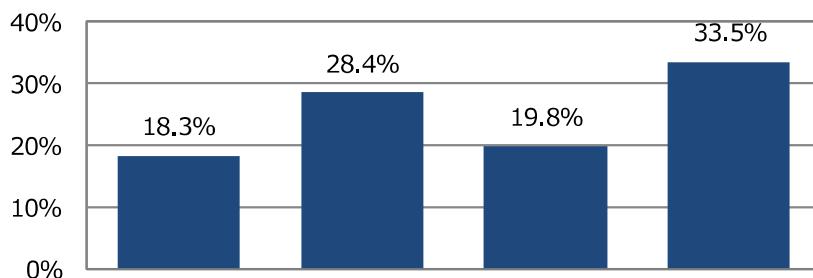
コメント	件数
研修・自己啓発	5件
コンサルティング	1件

(19) 今後のテレワーク利用意向について

(単一回答)

今後のテレワーク利用意向について尋ねたところ、「利用したくない」の割合がもっとも大きく、33.5%であった。加重平均値は-0.22であった。

- 年代別に見ると、20~30代では利用意向が高く、40~70代では利用意向が低かった。また、40~70代においては年代が高くなるほど利用意向が低い傾向にあった。



		利用したい	利用ちしだいかといえれば	利用ちしだいかくとないいえれば	利用したくない	加重平均値		
		n数	加重値	+2	+1	-1	-2	
全体		1,000		183 18.3%	284 28.4%	198 19.8%	335 33.5%	-0.22
性別	男性	606		115 19.0%	163 26.9%	118 19.5%	210 34.7%	-0.24
	女性	394		68 17.3%	121 30.7%	80 20.3%	125 31.7%	-0.19
年代別	20代	88		18 20.5%	35 39.8%	22 25.0%	13 14.8%	0.26
	30代	177		47 26.6%	61 34.5%	25 14.1%	44 24.9%	0.24
	40代	272		55 20.2%	84 30.9%	47 17.3%	86 31.6%	-0.09
	50代	268		37 13.8%	68 25.4%	60 22.4%	103 38.4%	-0.46
	60代	165		21 12.7%	33 20.0%	36 21.8%	75 45.5%	-0.67
	70代	30		5 16.7%	3 10.0%	8 26.7%	14 46.7%	-0.77

※ n数 = 30以上のとき、全体と比較して ■ +5pt以上 ■ +10pt以上 ■ -5pt以下 ■ -10pt以下

※加重平均値は、各選択肢に加重値(下段の点数)を与え、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じて算出している。

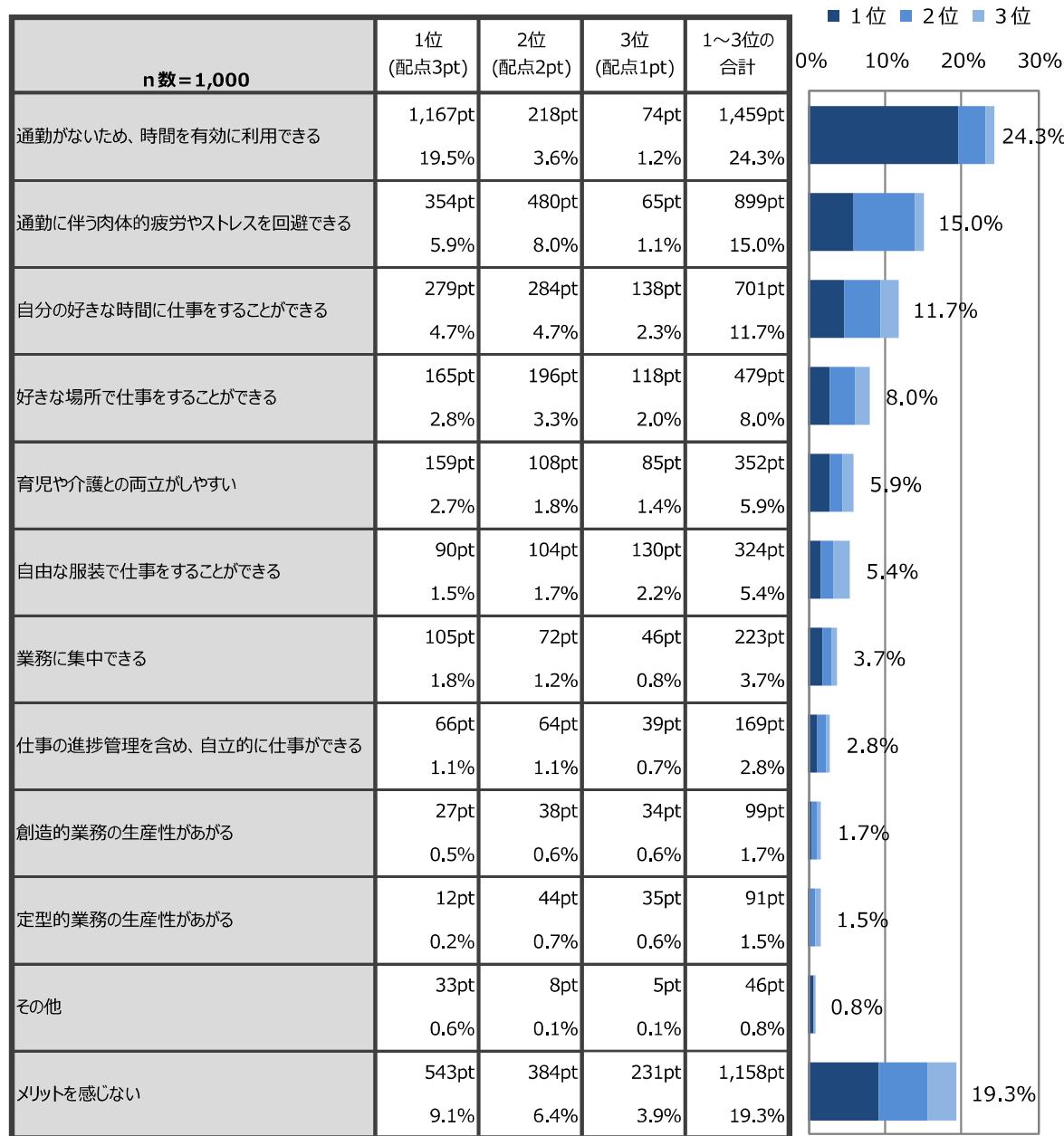
±0を境に正の値であれば「利用したい」、負の値であれば「利用したくない」を意味している。なお、小数点第2位を四捨五入している。

(20) テレワークのメリットについて

(上位3つまで)

テレワークのメリットについて尋ねたところ、「メリットを感じない」を除く上位1～3位の合計では、「通勤がないため、時間を有効に利用できる」の割合がもっとも大きく、24.3%であった。「メリットを感じない」は19.3%であった。

- 1位としては「メリットを感じない」を除く上位1～3位の合計と同様「通勤がないため、時間を有効に利用できる」の割合がもっとも大きかった。2位では「通勤に伴う肉体的疲労やストレスを回避できる」、3位では「メリットを感じない」を除き「自分の好きな時間に仕事をすることができる」の割合がもっとも大きかった。



※スコア(%)は、配点の合計(6,000pt)に占める割合

※1～3位の合計で降順ソート

【その他回答者のコメント（一部抜粋）】

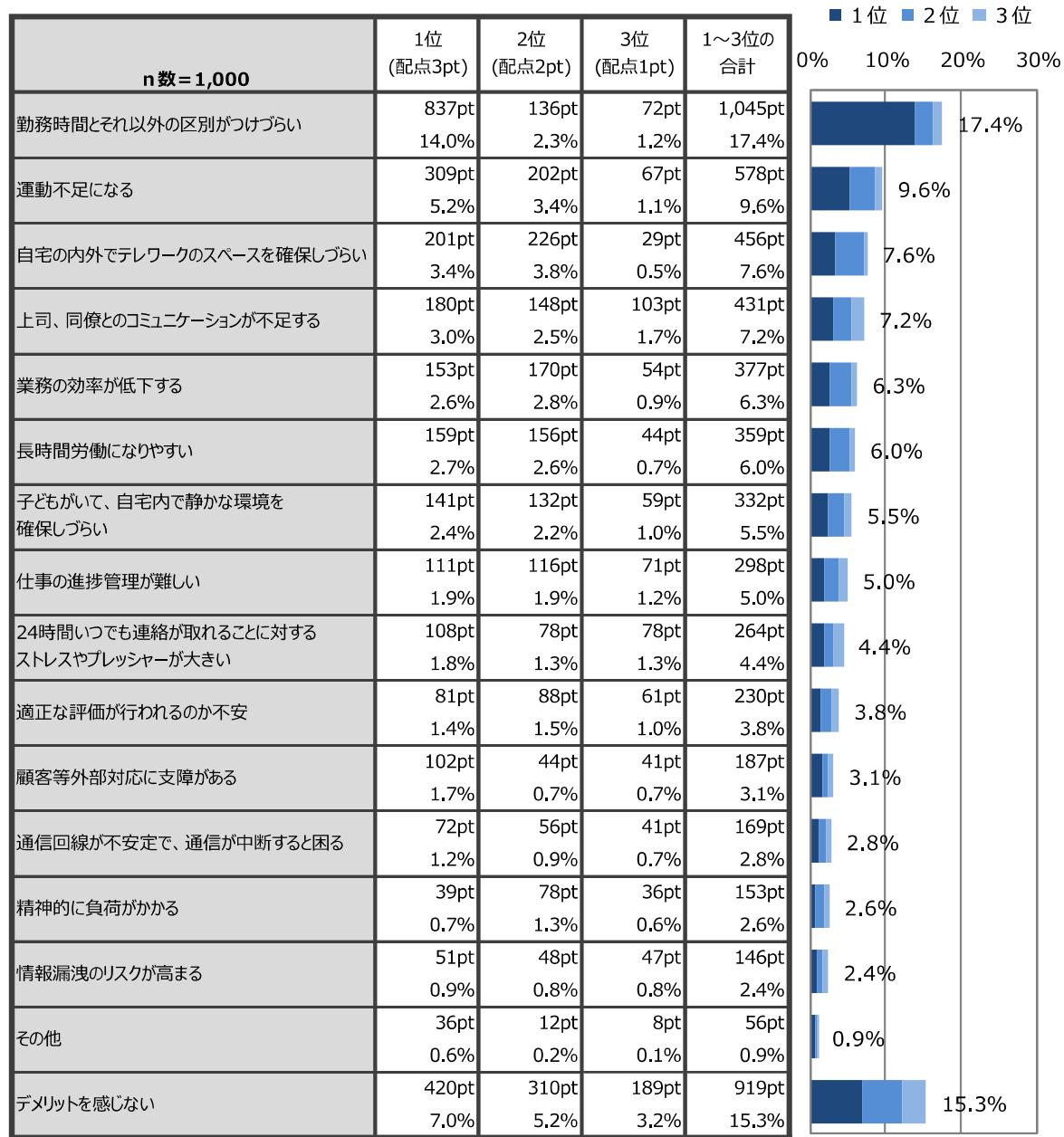
コメント	件数
テレワークができない職種のためわからない	10件
コロナ感染予防	5件
対象の表情がよく分かる	1件

(21) テレワークのデメリットについて

(上位3つまで)

テレワークのデメリットについて尋ねたところ、「デメリットを感じない」を除く上位1~3位の合計では、「勤務時間とそれ以外の区別がつけづらい」の割合がもっとも大きく、17.4%であった。「デメリットを感じない」は15.3%であった。

- 1位としては「デメリットを感じない」を除く1~3位の合計と同様「勤務時間とそれ以外の区別がつけづらい」の割合がもっとも大きかった。2位では「デメリットを感じない」を除き「自宅の内外でテレワークのスペースを確保しづらい」、3位では「デメリットを感じない」を除き「上司、同僚とのコミュニケーションが不足する」の割合がもっとも大きかった。



※スコア(%)は、配点の合計(6,000pt)に占める割合

※1~3位の合計で降順ソート

【その他回答者のコメント（一部抜粋）】

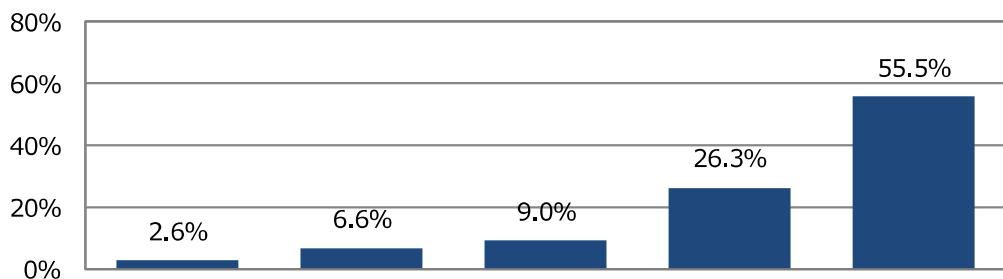
コメント	件数
テレワークができない職種のためわからない	20件
現場対応ができない	2件
電気代がかかる	1件
自宅の光熱費があがる	1件
集中できる時間がとりにくい	1件

(22) 現在の仕事のうちテレワークで実施可能な程度について

(單一回答)

現在の仕事のうちテレワークで実施可能な程度について尋ねたところ、「すべてテレワークで実施できない」の割合がもっとも大きく、55.5%であった。「すべてテレワークで実施できる」は2.6%に留まった。

- 性別に見ると、女性で「すべてテレワークで実施できない」が全体に比べて特に高かった。
- 年代別に見ると、60代で「すべてテレワークで実施できない」が全体に比べて高く、70代で「ほとんどテレワークで実施できる」が全体に比べて特に高かった。



		n数	で す き レ べ る ワ て く で 実 施	で テ ほ き レ と る ワ ん ど ク で 実 施	で テ 半 き レ 分 る ワ 程 度 ク は で 実 施	で テ 一 き レ 部 る ワ な ら ク で 実 施	で テ す き レ べ な ワ て い ク で 実 施
		n数	で す き レ べ る ワ て く で 実 施	で テ ほ き レ と る ワ ん ど ク で 実 施	で テ 半 き レ 分 る ワ 程 度 ク は で 実 施	で テ 一 き レ 部 る ワ な ら ク で 実 施	で テ す き レ べ な ワ て い ク で 実 施
性別	全体	1,000	26	66	90	263	555
	男性	606	16	52	67	177	294
年代別	女性	394	10	14	23	86	261
	20代	88	2	9	10	26	41
	30代	177	4	13	15	42	103
	40代	272	10	7	27	77	151
	50代	268	8	18	25	71	146
	60代	165	2	14	11	38	100
	70代	30	0	5	2	9	14

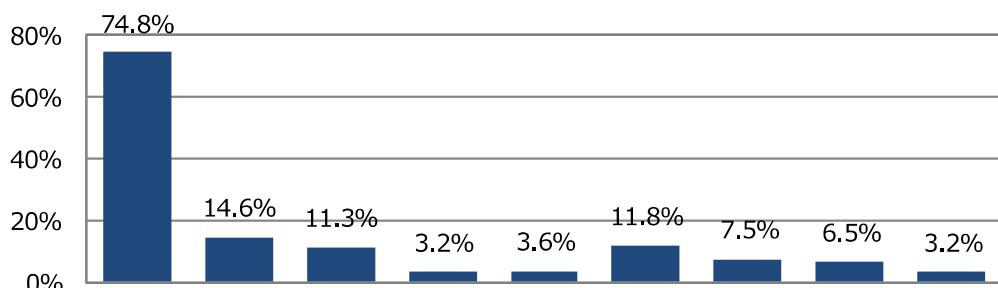
※ n数 = 30以上のとき、全体と比較して ■+5pt以上 ■+10pt以上 ■-5pt以下 ■-10pt以下

(23) 現在の仕事がテレワークで実施できない理由について

(複数回答可)

流行前後ともテレワークを実施しなかったと回答した人に対して、現在の仕事がテレワークで実施できない理由について尋ねたところ、「テレワークで行える業務ではない」の割合がもっとも大きく、74.8%であった。

- 性別に見ると、女性で「テレワークで行える業務ではない」が男性に比べて高かった。



		n数	はテなれいワクで行える業務で	がテ整労備務さ管され理くて・をい就行な労えい規る則制等度)	な関連設備等クがを行なう備えさるれIてCいT	なテいレワクを行なう備えさるれIてCいT	テ経営・I管理層が消極的	問題キガユアリあるティ面で	化文書管理で理いがなデイタ	ら中実りで施され、自署な部だ署実が施あるづ	その他
全体		813	608	119	92	26	29	96	61	53	26
性別	男性	467	333	63	57	16	16	56	41	33	12
	女性	346	275	56	35	10	13	40	20	20	14
年代別	20代	69	50	12	10	0	2	10	7	3	5
	30代	142	113	22	18	7	3	19	12	11	3
	40代	229	171	37	21	9	10	28	20	18	3
	50代	215	160	29	26	8	8	26	13	11	6
	60代	136	96	17	14	1	6	12	8	8	8
	70代	22	18	2	3	1	0	1	1	2	1

※ n数 = 30以上のとき、全体と比較して ■ +5pt以上 □ +10pt以上 ▲ -5pt以下 △ -10pt以下

【その他回答者のコメント（一部抜粋）】

コメント	件数
理由はない	3件
外部対面指示ワークの部分が難しい	2件
理由が不明	2件
必要ではないため	1件

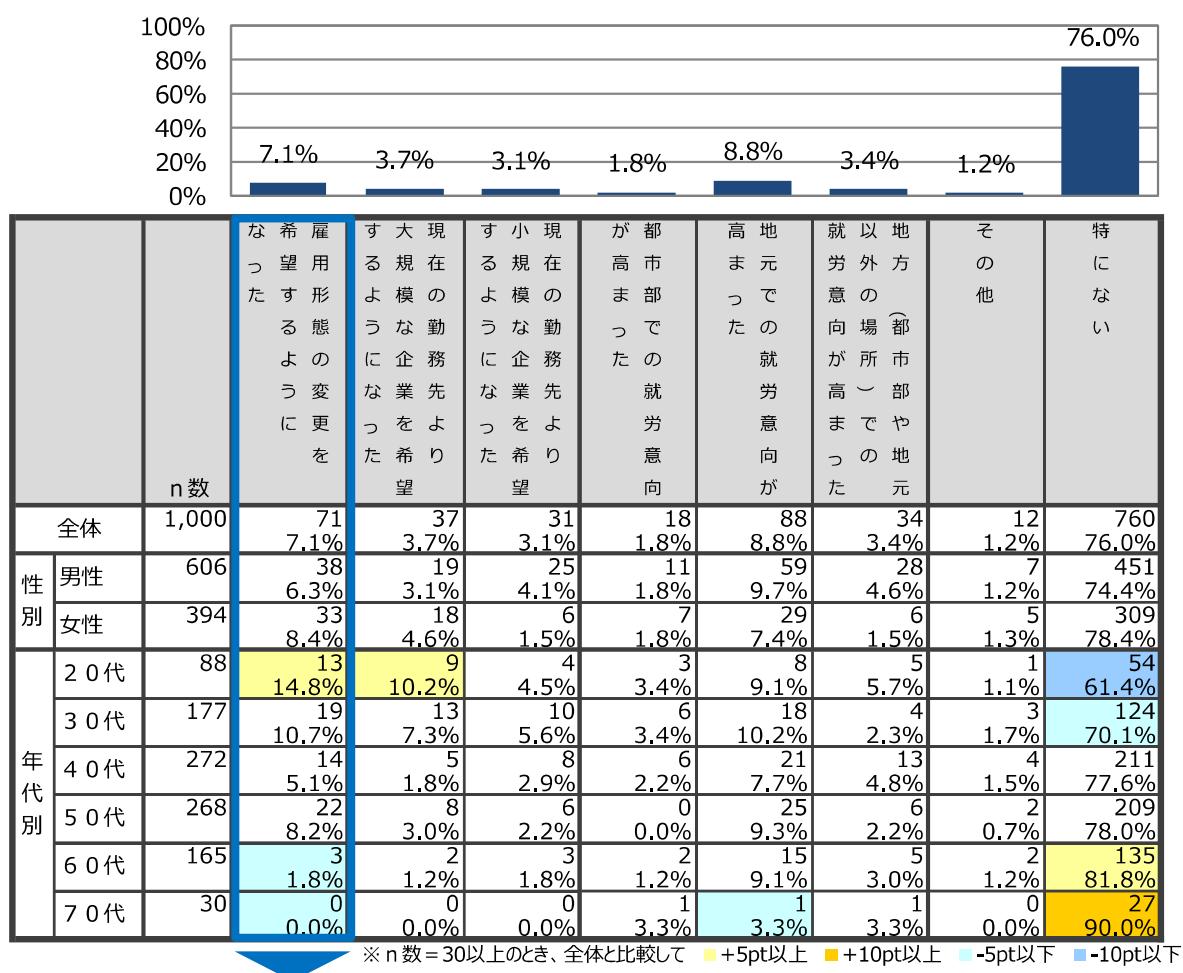
(24) 職業観の変化および希望するようになった雇用形態について

(複数回答可)

職業観に対する変化について尋ねたところ、「特にない」の割合がもっとも大きく、76.0%であった。具体的な変化としては、「地元での就労意向が高まった」の割合が8.8%でもっとも大きく、次いで「雇用形態の変更を希望するようになった」が7.1%であった。

- 年代別に見ると、年代が低くなるほど職業観に対する変化が「あった」割合が高い傾向にあった。20代では「雇用形態の変更を希望するようになった」「現在の勤務先より大規模な企業を希望するようになった」が全体に比べて高かった。

「雇用形態の変更を希望するようになった」と回答した人に対して、希望するようになった雇用形態について尋ねたところ、「正社員」の割合がもっとも大きく、57.7%であった。



	n	正社員	嘱託社員	契約社員	バアパイルト	アバート	派遣社員	経営者	ラーナフスリード	自営業	でりはなライソラス	自営業	その他の
全体	71	41	4	15	0	2	8	1	1	0	27	0	0.0%

【その他回答者のコメント（一部抜粋）】

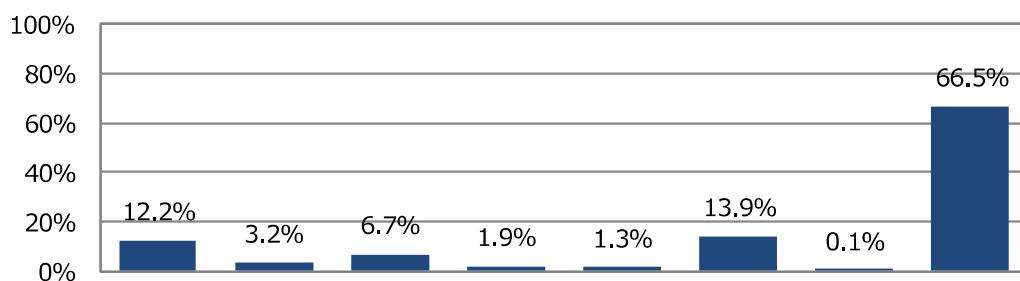
コメント	件数
テレワークが出来る職場に魅力を感じるようになった	2件
やる気が減退した	2件
単独作業を切望するようになった	2件
副業しようと思った	2件
皆がやりたがらないことをしていて、負担も増えたのに待遇が悪くなつた。	1件
雇用形態よりも、どういう職種に就いているかが大事だと思いました。	1件
仕事があることにありがたいと思った	1件
人手が不足している所に副業したり、コロナ関係の助けになれたらしいね。	1件

(25) 職業選択の希望に対する変化について

(複数回答可)

職業選択の希望に対する変化について尋ねたところ、「特にない」の割合がもっとも大きく、66.5%であった。具体的な変化としては、「まだ具体的ではないが将来の仕事や収入について考えるようになった」の割合がもっとも大きく、13.9%であった。

- 年代別に見ると、年代が低くなるほど職業選択の希望に対する変化が「あった」割合が高い傾向にあった。20代で「転職を検討中」、30代で「副業を検討中」が全体に比べて高かった。



		n数	副業を検討中	副業を持った	転職を検討中	転職した	しや希望動するが就変業化先	考來まえのだる仕具体よ事体うや的に入はつになつついがて将	その他	特になく
全体		1,000	122	32	67	19	13	139	1	665
性別	男性	606	68	23	41	13	12	79	1	400
	女性	394	54	9	26	6	1	60	0	265
年代別	20代	88	15	5	13	2	2	13	0	49
	30代	177	33	13	16	10	3	26	1	95
	40代	272	41	8	18	3	4	44	0	170
	50代	268	27	3	15	2	3	37	0	191
	60代	165	4	2	5	2	1	16	0	136
	70代	30	2	1	0	0	0	3	0	24

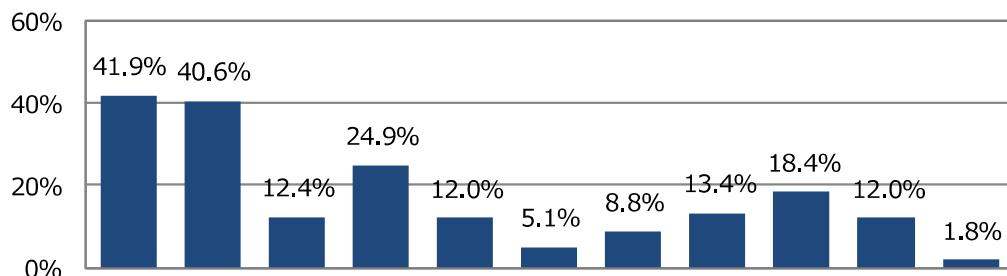
※ n 数 = 30以上のとき、全体と比較して ■ +5pt以上 ■ +10pt以上 ■ -5pt以下 ■ -10pt以下

(26) 転職・副業を検討した理由について

(複数回答可)

転職・副業を検討またはしたと回答した人に対して、検討した理由について尋ねたところ、「企業や業界の先行きに不安を感じるから」の割合がもっとも大きく、41.9%であった。

- 年代別に見ると、20代で「企業や業界の先行きに不安を感じるから」、40代で「自身の収入が減少したから」が全体に比べて特に高かった。



		n数																	
		不企業をや感業じるのか先行きに	から自身の収入が減ら行少しした	から自居の収入が減らして同居の収入が減らし	から自居の収入が減らして同居の収入が減らし	づくのなやうりたがりたが	づくのなやうりたがりたが	仕事の量が多いから	仕事の質が悪いから	仕事の進め方が悪いから	極め事が多忙を	仕事の進め方が悪いから	解雇されたり止めに	雇用形態が悪いから	人間関係が悪化したから	勤めきれないから	アスキップアッフルアの会社に勤めるのが苦手	時間に余裕がないから	その他
性別		全般	n	n	n	n	n	n	n	n	n	n	n	n	n	n	n		
性別	男性	132	61	56	15	32	15	6	9	15	24	18	2						
	女性	85	30	32	12	22	11	5	10	14	16	8	2						
年代別	20代	30	16 53.3%	7 23.3%	5 16.7%	10 33.3%	2 6.7%	1 3.3%	3 10.0%	4 13.3%	4 13.3%	3 10.0%	1 3.3%						
	30代	61	24 39.3%	20 32.8%	11 18.0%	16 26.2%	9 14.8%	5 8.2%	8 13.1%	11 18.0%	14 23.0%	7 11.5%	0 0.0%						
	40代	66	24 36.4%	35 53.0%	6 9.1%	18 27.3%	10 15.2%	3 4.5%	2 3.0%	7 10.6%	12 18.2%	6 9.1%	1 1.5%						
	50代	44	21 47.7%	21 47.7%	5 11.4%	9 20.5%	5 11.4%	0 0.0%	5 11.4%	6 13.6%	9 20.5%	5 11.4%	0 0.0%						
	60代	13	5 38.5%	3 23.1%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	2 15.4%	1 7.7%	1 7.7%	1 7.7%	3 23.1%	2 15.4%						
	70代	3	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%						

※ n数 = 30以上のとき、全体と比較して ■ +5pt以上 ■ +10pt以上 ■ -5pt以下 ■ -10pt以下

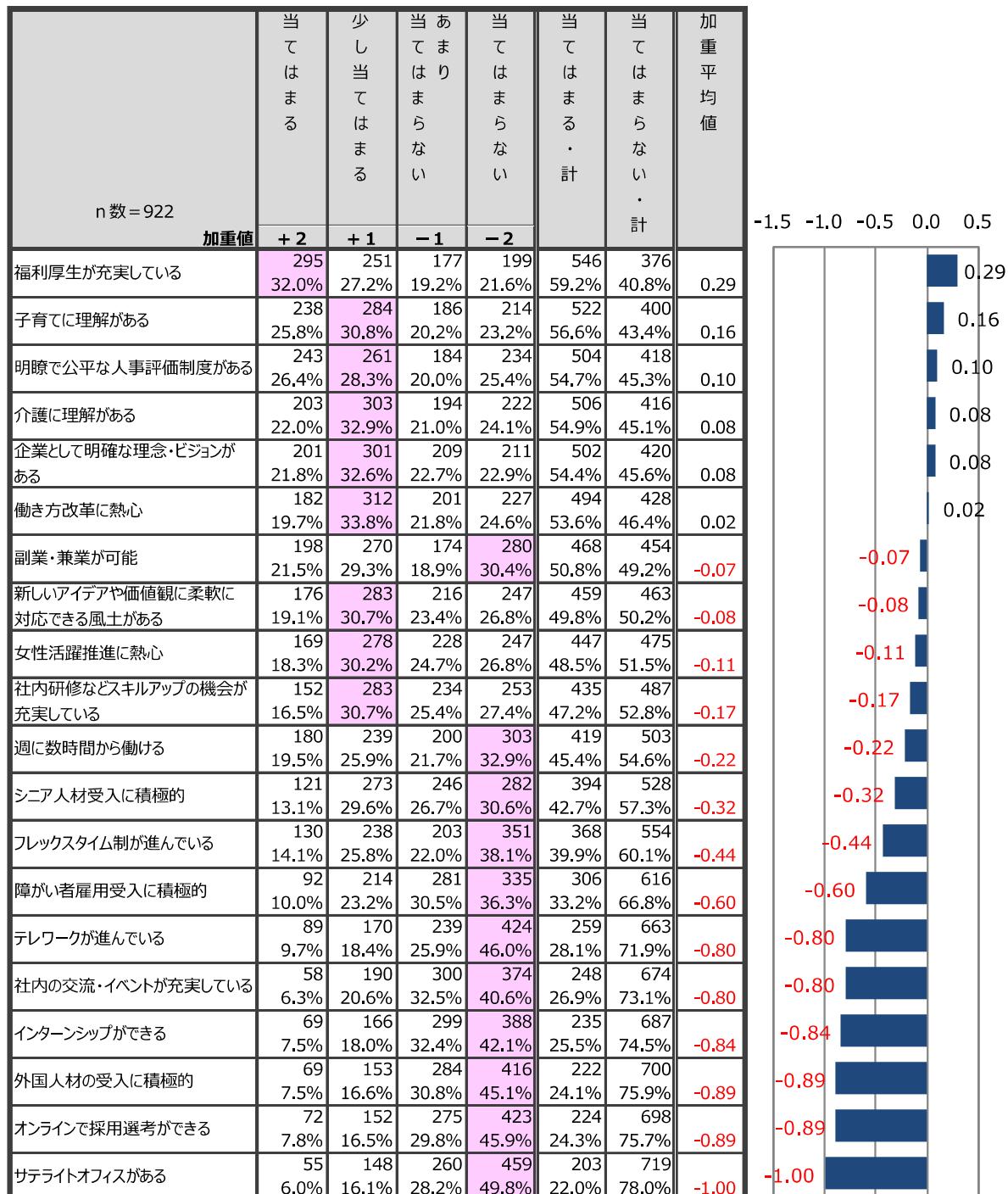
【その他回答者のコメント】

	コメント	件数
感染の恐れがあるため		3件
転居		1件

(27) 今後勤務先に期待する点について

<全体(単純集計)> (各单一回答)

自営(フリーランス)以外の人に対して、今後勤務先に期待する点について尋ねたところ、加重平均値は「福利厚生が充実している」がもっとも高く、0.29であった。次いで「子育てに理解がある(0.16)」、「明瞭で公平な人事評価制度がある(0.10)」が上位であった。



※ ピンクで大きい割合

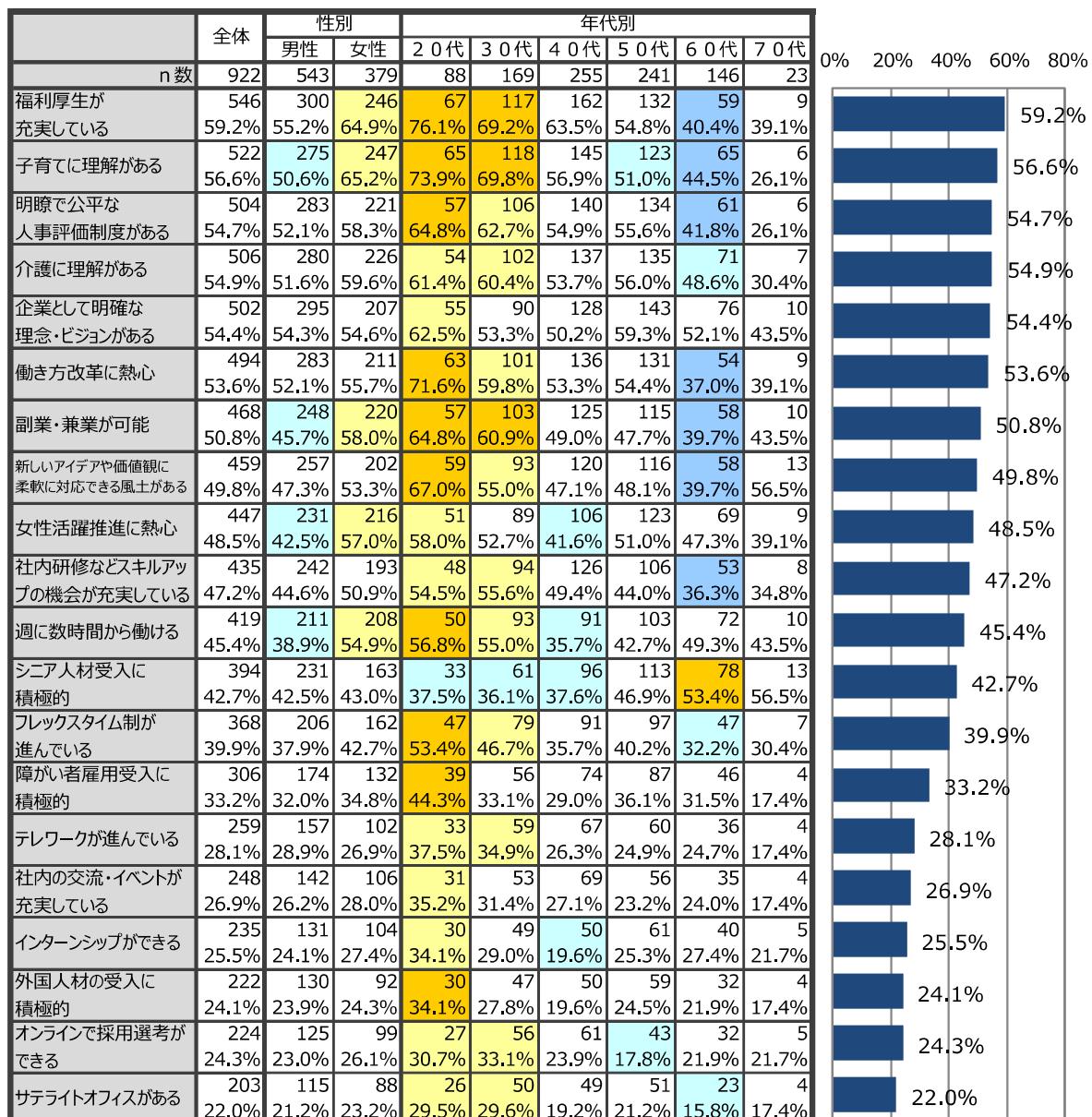
※加重平均値で降順ソート

※加重平均値は、各選択肢に加重値(下段の点数)を与え、これらを各回答区分の構成比(%)に乘じて算出している。

±0を境に正の値であれば「当てはまる」、負の値であれば「当てはまらない」を意味している。なお、小数点第2位を四捨五入している。

<当てはまる・計一覧：属性別(クロス集計)> (各单一回答)

- 自営(フリーランス)以外の人に対して、今後勤務先に期待する点について尋ねたところ、属性別には以下のような傾向が見られた。性別に見ると、女性で「福利厚生が充実している」「子育てに理解がある」「副業・兼業が可能」「女性活躍推進に熱心」「週に数時間から働ける」が全体に比べて高かった。
- 年代別に見ると、全体に比べて20~30代で全般的に高く、60代で全般的に低かった。



※ n数 = 30以上のとき、全体と比較して ■ +5pt以上 □ +10pt以上 ▲ -5pt以下 ▨ -10pt以下

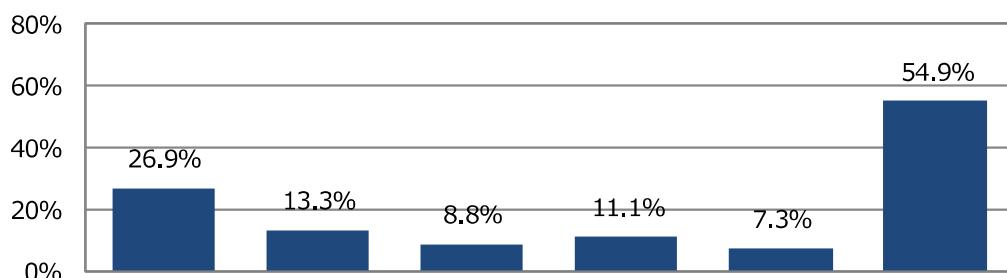
※各「当てはまる・計(「当てはまる」+「少し当てはまる」)」のスコア

(28) 仕事以外の行動や時間で増えたことについて

(複数回答可)

仕事以外の行動や時間で増えたことについて尋ねたところ、「いずれも行っていない」の割合がもっとも大きく、54.9%であった。具体的な増えたこととしては、「今までやれなかった日常生活に関わること」の割合がもっとも大きく、26.9%であった。

- 年代別に見ると、20代で「今までやれなかった日常生活に関わること」、70代で「本格的な趣味」が全体に比べて特に高かった。



		n数	等るた今	本芸格	技術新育	交オ	情キ強ビ	行い	
性別	年齢別	全体	1,000	269 26.9%	133 13.3%	88 8.8%	111 11.1%	73 7.3%	549 54.9%
		男性	606	162 26.7%	89 14.7%	59 9.7%	66 10.9%	41 6.8%	330 54.5%
性別	年齢別	女性	394	107 27.2%	44 11.2%	29 7.4%	45 11.4%	32 8.1%	219 55.6%
		20代	88	37 42.0%	17 19.3%	7 8.0%	15 17.0%	9 10.2%	34 38.6%
		30代	177	56 31.6%	34 19.2%	24 13.6%	25 14.1%	16 9.0%	84 47.5%
		40代	272	70 25.7%	36 13.2%	26 9.6%	31 11.4%	24 8.8%	145 53.3%
		50代	268	64 23.9%	23 8.6%	15 5.6%	22 8.2%	12 4.5%	165 61.6%
		60代	165	35 21.2%	15 9.1%	11 6.7%	17 10.3%	11 6.7%	105 63.6%
		70代	30	7 23.3%	8 26.7%	5 16.7%	1 3.3%	1 3.3%	16 53.3%

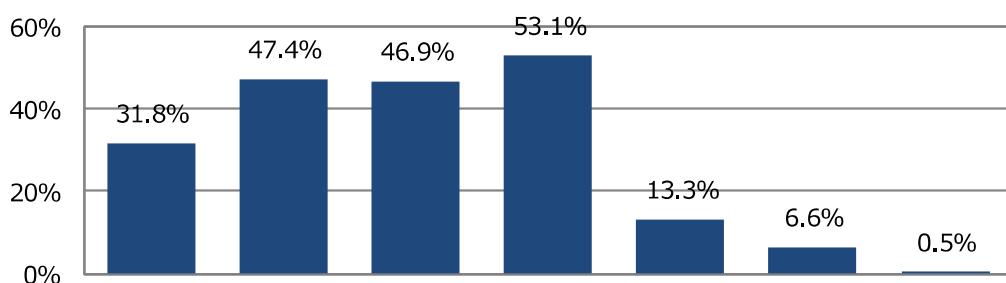
※ n 数 = 30以上のとき、全体と比較して ■ +5pt以上 ■ +10pt以上 ■ -5pt以下 ■ -10pt以下

(29) 仕事以外の行動や時間が増えた理由について

(複数回答可)

『教育・学習』『オンラインでの交流・発信』『ビジネス関係の勉強』の行動や時間が増えたと回答した人に対して、その理由について尋ねたところ、「自分自身の成長のため」の割合がもっとも大きく、53.1%であった。

- 性別に見ると、女性で「時間にゆとりがあったから」が全体に比べて高かった。
- 年代別に見ると、50代で「時間にゆとりがあったから」が全体に比べて特に高かった。



		n数	あ将る来かへらの不安が	あ時間	あ興味	成長分身のため	に就活	勧周囲	その他
全体		211	67	100	99	112	28	14	1
性別	男性	131	40	58	60	70	16	9	0
	女性	80	27	42	39	42	12	5	1
年代別	20代	24	10	13	11	10	7	2	0
	30代	50	17	23	26	30	9	5	0
	40代	61	22	24	26	32	7	2	1
	50代	40	12	24	15	21	5	1	0
	60代	30	5	14	17	13	0	4	0
	70代	6	1	2	4	6	0	0	0

※ n数 = 30以上のとき、全体と比較して ■ +5pt以上 ■ +10pt以上 ■ -5pt以下 ■ -10pt以下

【その他回答者のコメント】

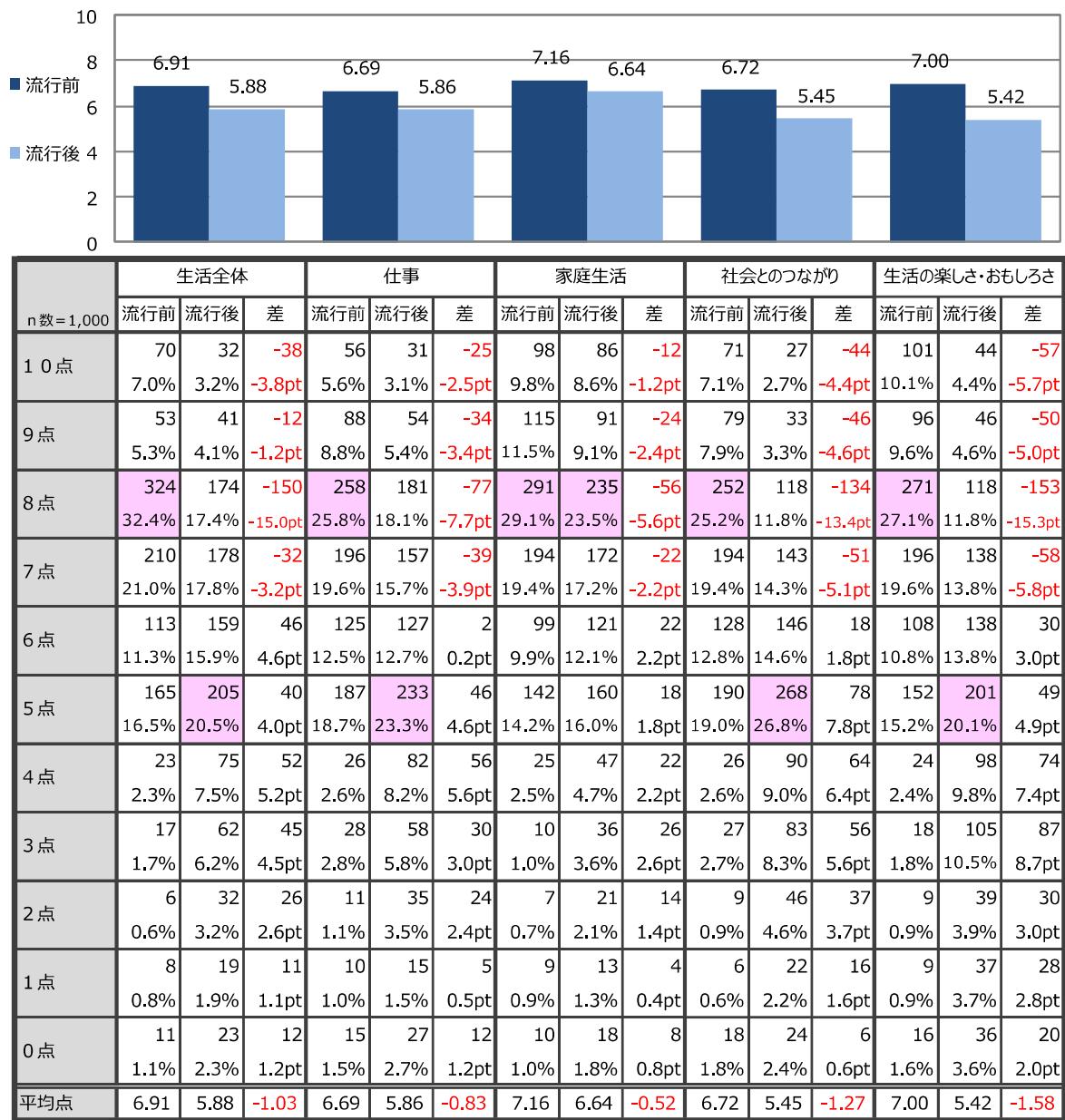
件数	コメント
1件	お稽古のため

(30) 新型コロナウイルス流行前後の満足度について

<全体(単純集計)> (各单一回答)

新型コロナウイルス流行前後の満足度について尋ねたところ、流行前後ともに『家庭生活』の平均点がもっとも高く、流行前で7.16点、流行後で6.64点であった。流行前ではいずれも「8点」の割合がもっとも大きかった。流行後では『家庭生活』を除く4項目で「5点」の割合がもっとも大きかった。

- 流行前後の平均点がもっとも減少した項目は『生活の楽しさ・おもしろさ』で、-1.58点であった。

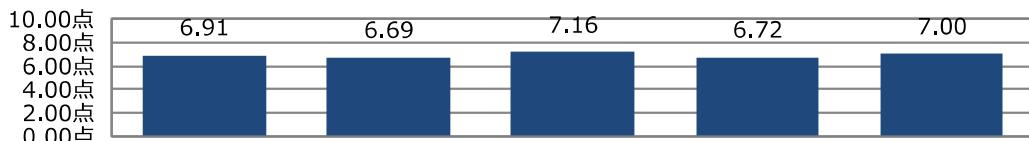


※ もっとも大きい割合

＜平均点一覧：属性別(クロス集計)＞（各単一回答）

- 新型コロナウイルス流行前後の満足度について尋ねたところ、属性別には以下のようない傾向が見られた。性別に見ると、流行前後の平均点は『仕事』を除く項目で、男性よりも女性の方が減少した。
- 年代別に見ると、流行前後の平均点は、『生活全体』『生活の楽しさ・おもしろさ』で20代、『仕事』『家庭生活』『社会とのつながり』で70代がもっとも減少した。

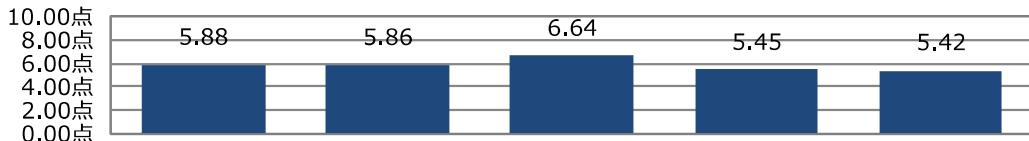
＜流行前＞



	n数	生活全体	仕事	家庭生活	社会とのつながり	生活の楽しさ・おもしろさ
全体	1,000	6.91	6.69	7.16	6.72	7.00
性別						
男性	606	6.87	6.70	7.13	6.68	6.95
女性	394	6.96	6.69	7.20	6.79	7.07
年代別						
20代	88	7.15	6.52	7.25	6.82	7.03
30代	177	6.81	6.53	6.96	6.51	6.79
40代	272	6.62	6.42	6.97	6.47	6.75
50代	268	6.84	6.60	7.12	6.66	7.00
60代	165	7.31	7.31	7.48	7.25	7.41
70代	30	7.70	8.00	8.30	7.57	8.17

※ ■ もっとも高い平均点

＜流行後＞



	n数	生活全体	仕事	家庭生活	社会とのつながり	生活の楽しさ・おもしろさ
全体	1,000	5.88	5.86	6.64	5.45	5.42
性別						
男性	606	6.01	5.85	6.68	5.53	5.56
女性	394	5.67	5.86	6.58	5.33	5.20
年代別						
20代	88	5.76	6.06	6.77	5.30	5.24
30代	177	5.89	5.80	6.38	5.25	5.37
40代	272	5.73	5.61	6.56	5.35	5.32
50代	268	5.64	5.63	6.60	5.34	5.26
60代	165	6.37	6.47	6.95	5.99	5.80
70代	30	6.87	6.53	7.17	6.03	6.43

※ ■ もっとも高い平均点

＜流行前後の差＞

	n数	生活全体	仕事	家庭生活	社会とのつながり	生活の楽しさ・おもしろさ
全体	1,000	-1.03	-0.83	-0.52	-1.27	-1.58
性別						
男性	606	-0.86	-0.85	-0.45	-1.15	-1.39
女性	394	-1.29	-0.83	-0.62	-1.46	-1.87
年代別						
20代	88	-1.39	-0.46	-0.48	-1.52	-1.79
30代	177	-0.92	-0.73	-0.58	-1.26	-1.42
40代	272	-0.89	-0.81	-0.41	-1.12	-1.43
50代	268	-1.20	-0.97	-0.52	-1.32	-1.74
60代	165	-0.94	-0.84	-0.53	-1.26	-1.61
70代	30	-0.83	-1.47	-1.13	-1.54	-1.74

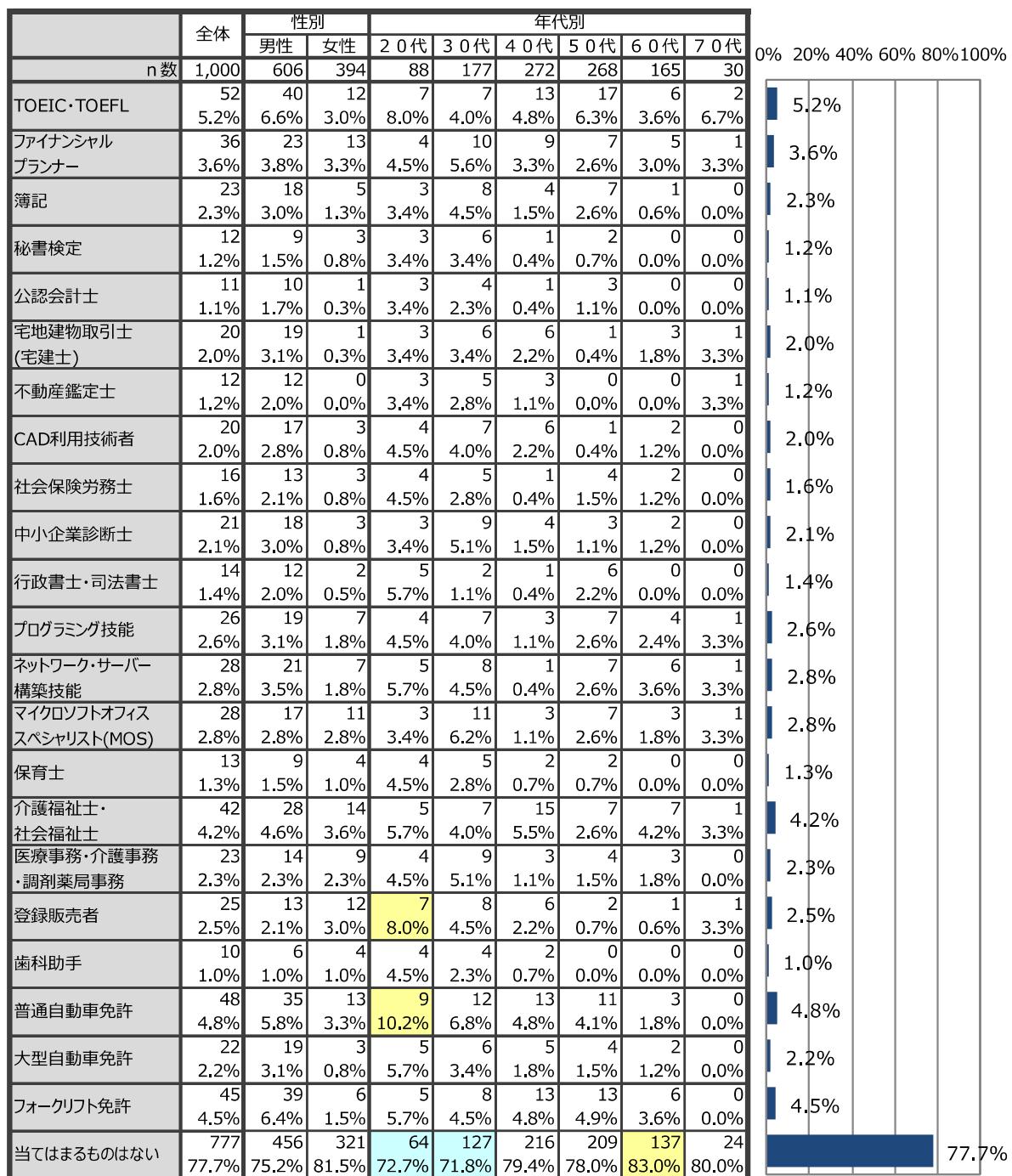
※ ■ もっとも平均点が減少

(31) 資格取得研修について

<勤務先で実施されている>（複数回答可）

勤務先で実施されている資格取得研修について尋ねたところ、「当てはまるものはない」の割合がもっとも大きく、77.7%であった。実施率は22.3%となっており、具体的な内容としては、「TOEIC・TOEFL」の割合がもっとも大きく、5.2%であった。

- 年代別に見ると、20代で「登録販売者」「普通自動車免許」が全体に比べて高かった。

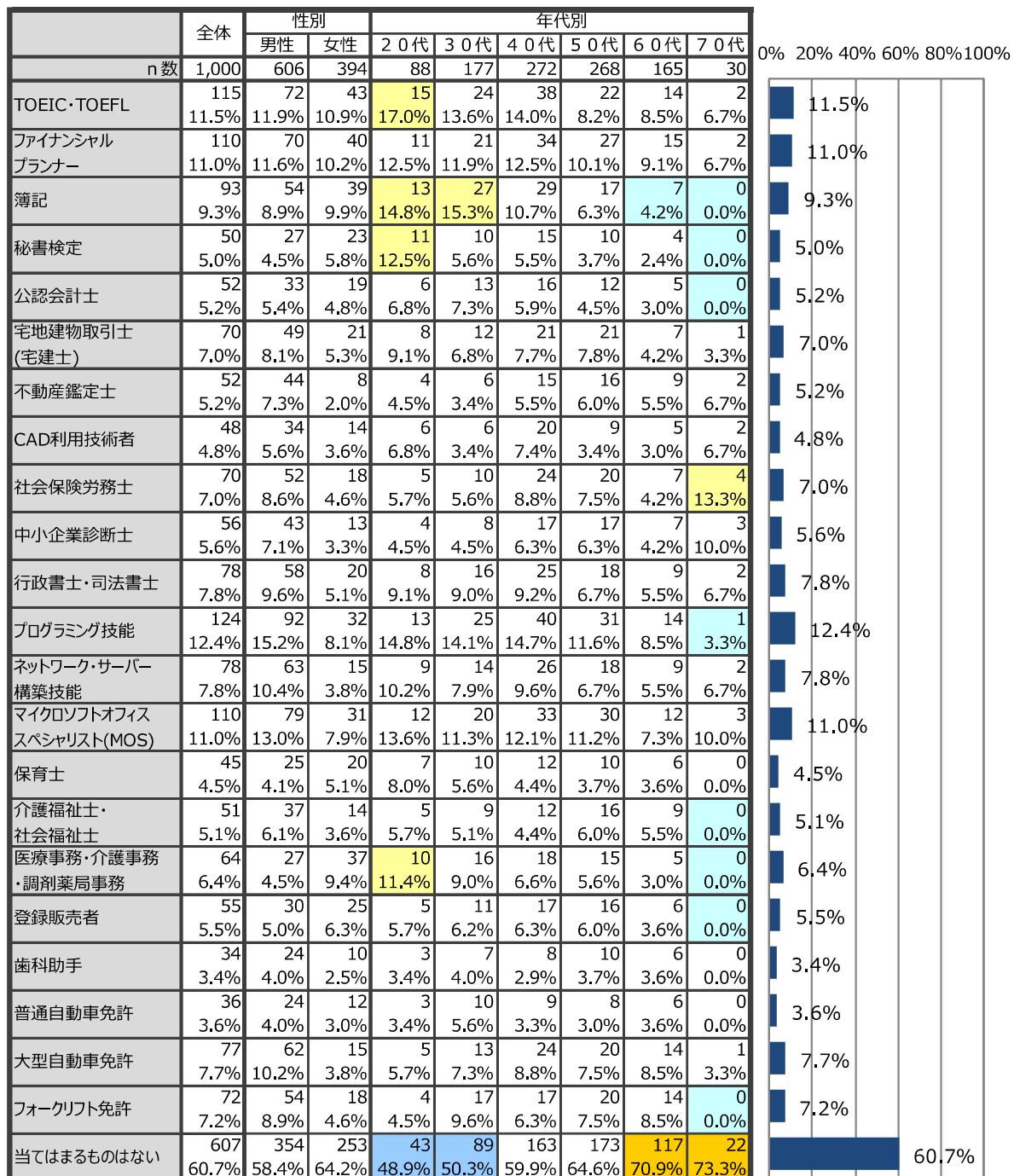


※ n数 = 30以上のとき、全体と比較して ■ +5pt以上 ■ +10pt以上 ■ -5pt以下 ■ -10pt以下

＜今後受けてみたい＞（複数回答可）

今後受けてみたい資格取得研修について尋ねたところ、「当てはまるものはない」の割合がもっとも大きく、60.7%であった。意向率は39.3%となっており、具体的な内容としては、「プログラミング技能」の割合がもっとも大きく、12.4%であった。

- 年代別に見ると、年代が低くなるほど意向率が高い傾向にあった。20代で「TOEIC・TOEFL」「簿記」「秘書検定」「医療事務・介護事務・調剤薬局事務」、30代で「簿記」、70代で「社会保険労務士」が全体に比べて高かった。



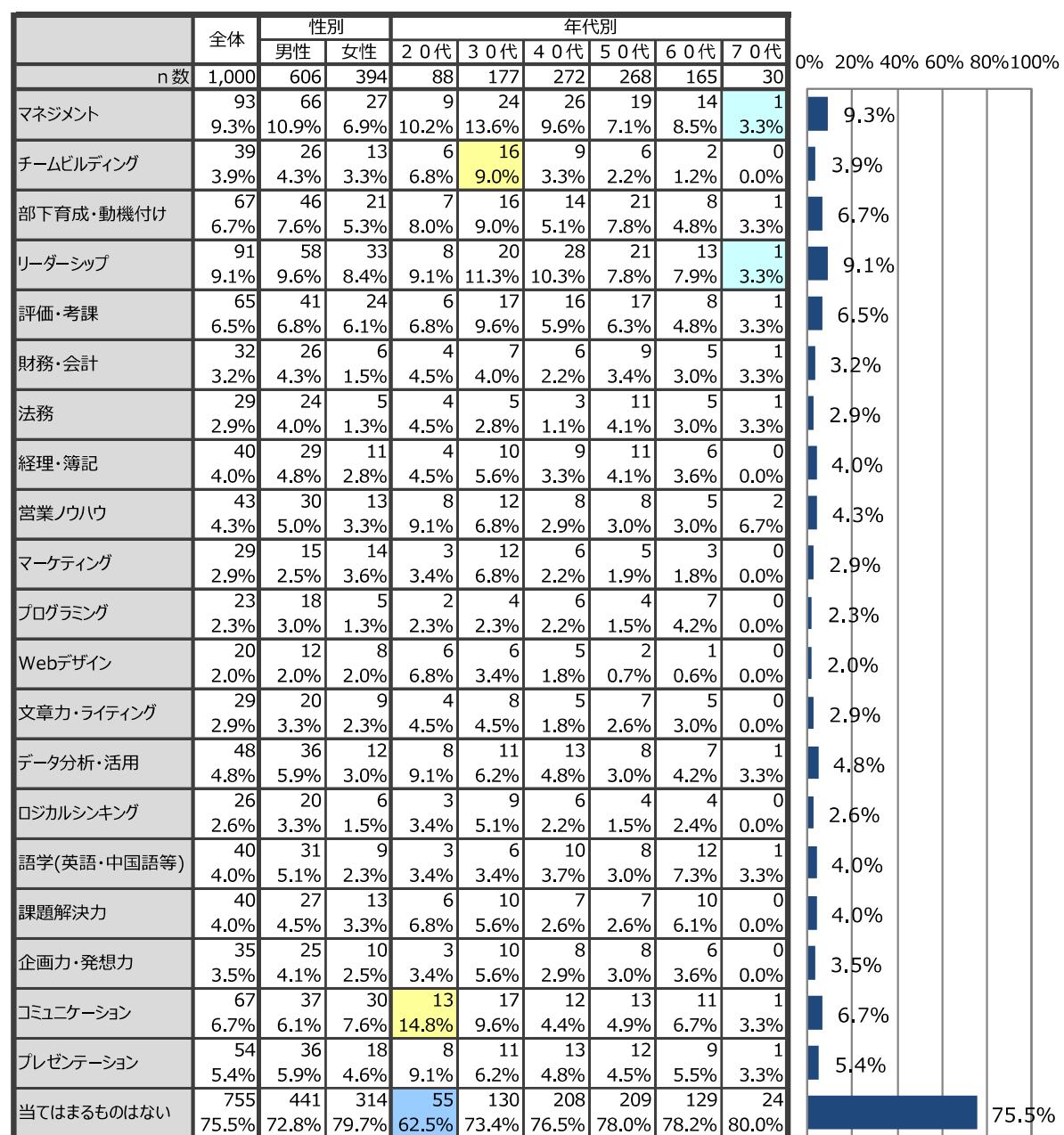
※ n数 = 30以上のとき、全体と比較して ■ +5pt以上 □ +10pt以上 ▲ -5pt以下 △ -10pt以下

(32) スキルアップ研修について

<勤務先で実施されている>（複数回答可）

勤務先で実施されているスキルアップ研修について尋ねたところ、「当てはまるものはない」の割合がもっとも大きく、75.5%であった。実施率は24.5%となっており、具体的な内容としては、「マネジメント」の割合がもっとも大きく、9.3%であった。

- 年代別に見ると、20代で「コミュニケーション」、30代で「チームビルディング」が全体に比べて高かった。



※ n数 = 30以上のとき、全体と比較して ■ +5pt以上 ■ +10pt以上 ■ -5pt以下 ■ -10pt以下